

第1回 保育実習に係る保育士養成校と保育所等との意見交換会 概要

開催日時：令和8年8月6日（木）

開催場所：藤沢商工会議所3階 302+303 会議室

参加者：保育士養成校 13名、保育実習受入施設 56名

テーマ：①実習生への指導方法について ②指導実習（部分・責任実習）について

意見交換会内容紹介

テーマ1：実習生への指導方法について

<グループA>

- ・はじめての実習で0歳児クラスに配属すると、乳児との関わりがむずかしく、実習生の不安につながってしまう恐れがあるため、入りやすいクラス、たとえば2歳児クラスなどから経験してもらおうとよいのではないかな。
- ・実習の中でシフト勤務を経験してもらおうと、実際に就職した際のイメージがつきやすく、また異年齢との関わりも経験できるのではないかな。

<グループB>

- ・保育士の人手が不足していて、実習生に十分な指導をしてあげられていない現状がある。
- ・実習先の園で一貫した指導を行うためには、園の保育士全員が統一した考えで保育を行っている必要がある。
- ・実習日誌の記述にAIを用いる実習生への対応が課題として挙げた。

<グループC>

- ・実習生とコミュニケーションは取りつつも、ノンコンタクトタイムを取り入れている。
- ・養成校では、先生が学生とメールで直接コンタクトを取れるようにすることで実習生の不安等にすぐに対応できる体制を作っている。

<グループD>

- ・実習日誌のフィードバックまでに時間がかかってしまったり、1日の振り返りがなかったりする園もある。少しでもフィードバックがあると、実習生が翌日以降の糧にできるので、そういった時間を大切にしたい。

<グループE>

- ・実習日誌について、時系列やドキュメンテーションなど、様々な記録方法があり、園によっても方針が異なるが、たとえば各年度で分けて、1年目は時系列で、2年目はエピソード記録で、3年目はドキュメンテーションで書くといったように、記録方法を変えていくとより学びが深まるのではないかな。
- ・園は命を預かる場なので、実習生をお客様扱いするのではなく、やってはいけないことなどはきちんと伝えていかなければいけない。

<グループF>

- ・今の学生さんは多様化している。実習先の園と養成校とで連携を強めて、様々な情報共有を行っていく必要がある。

<グループG>

- ・実習日誌について、ICT化が進んでおり、養成校から「実習日誌はすべて紙ではなくデータで」と依頼されることもあるが、現場がまだICT化に対応しきれていない部分もある。そのような園では、どのように添削したらよいか対応に苦慮している。また、記録の方法についても多様

なやり方が出てきているが、実習生が希望していても、園児の写真を使用するという点で、ドキュメンテーションを取り入れるのが難しい場合もある。

テーマ2：指導実習（部分・責任実習）について

<グループH>

- ・保育方針や力を入れていることなど、園それぞれに多様な個性があるが、実習生にも「こういった保育がしたい」という希望があると思うので、実習先を選ぶ際にそういった視点からマッチングを行えるとよいのではないかな。

<グループI>

- ・どこまで実習生に任せて、どこから手助けしたらよいのか、判断が難しい。できるだけ任せてあげたいが、その時のクラスの状況にもよる。指導者も計画立案から一緒にやることで、お互いに状況が把握できたり理解が深まったりするのではないかな。

感想

- ・実習受け入れについて、どの園も色々悩んだり工夫したりと頑張って保育士を増やしていくために真剣に向き合っている事がわかりました。当園も同じくこれで良いのか、もっと良い保育士になってもらいたい等、学生のやる気を手探りしながら丁寧に対応をしていきたいです。沢山のご意見は勉強になりました。
- ・時代により学生も変化してきているので今回、今の学生の特徴や困難なことがその子それぞれの多様化など、お話が聞けて良かったです。また今回教えていただいたように、反省の時間をしっかり持つことを意識し、よい点と改善点などもその子に合わせて伝えていこうと思います。今まで月案や指導計画など見せていなかったことに反省し、充実したオリエンテーションを心がけていきたいと思います。
- ・様々な施設の対応と養成校からの実際の学生の声や先生方の思いを伺うことができ、ありがたい機会となりました。実習生を受け入れる責任も改めて感じ、職員全体で何のために受け入れるのか、実習生に実習後にどう感じて欲しいかなど話しをしたいと思います。
- ・実習生が多様化してきているという現状が多くグループであがってきていたので、コミュニケーションのとり方を工夫していかなければと改めて思いました。また主体的な保育が主流になってきている今、責任実習などで、子どもの参加の仕方や実習のあり方について他の園のお話を聞くことができ、参考になりました。
- ・多様化の時代の中で学生も様々にいて保育にむけての実習に送りだす養成校のお話を聞いたのは、受け入れる施設側として共に保育者を育てるという意識が高まりました。またメンタル面、発達面、家庭面、価値観に配慮する中で各園が実習生、新卒の先生に配慮していることもうかがえて学びになりました。

